

所属・氏名 南城小学校 熊谷 大輔

1 はじめに

南城小学校は、全校児童460名（令和3年1月現在）であるが、北上市の工場稼働の影響もあり、学区内の宅地や集合住宅が増加しているため、児童数は年々微増している。また、転勤や転居も多く、保護者の就業場所や家庭環境が多岐にわたることもあり、毎年多くの保育園、幼稚園、子ども園から児童は入学してきている。令和3年度は23園から84名の入学児童を迎える予定であることから、保幼小の連携や入学後の活動を工夫する必要があると感じている。

2 実践について

(1) 南城小学校区 保幼小連携の活動内容（令和元年～令和2年度12月まで）

○ー主に園児・児童の活動や交流 ○ー主に職員の指導や交流 ●ー主に保護者への働きかけ

時期等	内 容	備 考
通年	○お便りを通じた交流（園⇄学校） ○年間行事予定の共有 ○交流や活動の情報共有（連携通信）	
4月	○あいさつまわり ◎スタートカリキュラムの取り組み ◎集団登校	
7月	○授業参観（南城小学校区5園へ案内） ○情報交換会（主幹 1年担任 5園の先生方）	
9月	◎運動会総練習への招待	
10月	◎クローバーの会（5園交流会）への参加	
11月	○保育参観・給食参観（南城保育園へ） ○園内研究会への参加（みどりの保育園へ） ○授業参観（南城小学校区5園へ案内） ◎交流学习（1年生生活科）への招待 ◎●就学時健診（保健講話の実施）	
12月	◎手紙のやりとり（1年 国語）	
1月	●あすなろ学習会（保護者への啓発・啓蒙活動） 校長講話「就学前の家庭教育」	
2月	●新入学児童保護者説明会 ◎体験入学（1年教室での授業 体育館での集団遊び） ○授業参観（南城小学校区5園へ案内） ○保幼小引継ぎ（個票 活動の引き継ぎ）	
3月	○学級編成 ○校内組織・指導計画（スタートカリキュラム）の見直し 次年度の見通し	

(2) 具体的実践内容

◎主に職員の指導や交流について

①授業参観・情報交換会

今年度はコロナウイルス感染防止の観点から、7月に実施し、南城小学校区の5つの園から、9名の先生方に来校いただいた。【写真1】

1年生の授業の様子をご覧いただくとともに、授業後には情報交換会を実施し、小学校の教員と園の職員とで「活動や学習の様子」「気になる児童」などの話題について交流することができた。【写真2】

また、コロナ禍での交流の仕方やできることを共有するとともに、南城小学校区としての1年間の活動の見通しや方針についても確認することができた。

《参観いただいた園の方からの感想》

- 保育園よりも大きな集団の中で頑張っている姿を見ることができて嬉しく思いました。
- 心配していた子はやはり目立っていました。今後も何かありましたら連携していきたいです。
- 20分間の授業にはメリハリがあると感じた。何より「楽しい」と思える雰囲気を先生方が作っていました。小学校の先生方はいろいろな「おたのしみ」の引き出しを持っているのですね。



【写真1】南城小学校での授業参観（7月）



【写真2】情報交換会の様子

②保育参観・園内研究会参加

11月、南城保育園の保育参観に主幹教諭が出かけ、ホールでの活動の様子、教室での読み聞かせの様子を見せていただいた。給食参観も行い、園児達が食事の準備をする様子を見るとともに、給食のメニューや量などの実際を知ることができた。【写真3】

また同じく11月、みどりの保育園の「園内研究会」には、主幹教諭と1年生担任が参加した。みどりの保育園の「子どもが生き生きと遊び生活する環境を考えよう」という研究テーマに沿って、事例が紹介され、ザリガニを飼育する際の園児の行動や発言、職員の声かけの仕方などがまとめられた資料をもとに「この接し方がよかった」「成長が感じられた」など、活発な意見交流が行われた。【写真4】

【保育参観・園内研究会参加の感想】

- 子どもを見る視点として、小学校職員が「10の姿」を意識する機会となった。
- 給食の実際を目にすることができて大いに参考になった。（当番活動 給食の量 食べる速さ等）
- 保小の職員が、同じ場面を題材に、異なる目線で話し合うことができたことで、指導や支援の幅が広がるように感じた。
- （ザリガニ飼育は）小学校生活科への活動の引き継ぎとしても有意義であった。小学校で体験を想起させることができ、学習のつながりが生まれるのではないかな。



【写真3】南城保育園での給食参観



【写真4】みどりの保育園 園内研究会

③活動や交流の情報共有

年度末の引き継ぎは学級編制の大きな材料となる。引き継ぎにあたっては、各園に個票の作成を依頼するとともに、今年度から「経験引き継ぎシート」の作成も依頼した。【資料1】経験引き継ぎシートは、既知の歌を把握したり、栽培体験などを把握したりできるため、4月のスタートカリキュラムに反映させるとともに、生活科の単元計画の参考にもなると考えている。

また、保幼小の連携に関わる活動について、校内外で情報共有したり、見通しをもって進めたりできるように、保幼小連携通信を発行した。主幹教諭が作成し、南城小学校の5園に配付することができた【資料2】。

【資料1】経験引き継ぎシート

令和3年度卒園児 経験引き継ぎシート(南城小学校)

南城小学校では、園児が「何を」「どのように」経験してきたか、傾向を把握するため、今年度、経験引き継ぎシートを活用することにしました。お手数ですが、記入いただきますようお願いいたします。(初めての取り組みですので、裏に例を載せました)
なお、このシートは個票ではなく、園としての全体傾向についてお知らせください。

園名		記入者名
遊び	中遊び	
	外遊び	
運動		
飼育		
栽培		
歌・楽器	歌	
	楽器	
掃除	ほうき ちりとり ぞうきん その他()	
当番		
文字・数字	文字	
	数字	

【資料2】 保幼小連携通信

南城小学校区 保幼小連携情報(No 2) R2.11

①クローバーの会

毎年、年長児童が集い、交流していた「クローバーの会」が今年度も実施されました。これまでは4園交流でしたが、新設のみどりの保育園さんからも年長児童3名の参加がありました。これからは5園交流の活動としてさらに充実していくことでしょう。

10月20日、農業ふれあい公園に集まった子ども達は、リレーをして交流したり、みんなで記念写真を撮ったりして、仲良く楽しく過ごすことができました。

南城小学校からも主幹教諭(熊谷)が参加して、子ども達の様子を見学させていただきました。園児達の様子や保幼の先生方の指示の出方の実態を目にする貴重な機会となりました。

園児にとっても、先生方にとってもお互いを知るよいきっかけになりました

②保育参観

今年はコロナ禍で、参観できるかどうか、大変迷いましたが、やれる範囲での参観を！と思い、南城保育園さんにお邪魔させていただきました。ホールでの鬼ごっこ(しっぽとり遊び)、絵本の読み聞かせ等を参観させていただきました。

また、お昼ご飯(給食)にも混ぜていただき、準備の仕方、給食の量や中身、食べるスピードなどを実際見る事ができました。

今年度は、私が中心となって参観しましたが、今後は、1年担任や特別支援学級の担任、管理職等もお邪魔できればいいなと感じています。

私も園の給食をいただきました！！！！

③今後の推進日程

(1) 保育園や幼稚園の参観
11月18日(水) みどりの保育園 参観
主幹教諭(熊谷) 1年担任(齋藤) 参加

※可能な限り多くの園にお邪魔したいと考えております。園での行事や活動などの参観が可能な場合、日程をお知らせください。

(2) 就学時健診 11月26日(金) 12:20~ 受付
(3) あすなろ学習会 1月26日(火)
(4) 新入学児童保護者説明会(体験入学) 令和3年2月9日(火)

○主に園児、児童の活動や交流について

①クローバーの会

南城小学校区内には、4つの園（南城保育園・めぐみ保育園・ぴっころ保育園・中央みのり幼稚園）があり、『クローバーの会』として、これまで毎年1回の4園交流を行ってきた。今年度、学区内に新設の園（みどりの保育園）ができたことから、5園の交流活動が行われた。

10月20日（火）、農業ふれあい公園に年長の園児達が集い、5園の混合チームでのリレーなどを通して、楽しく交流することができた。【写真5】

小学校からは、主幹教諭が参加し、園児や園の職員と交流し、おわりの会では講評を述べた。また、連携を進める上で大切な、園の先生方とのコミュニケーションを図る機会ともなった。【写真6】

【クローバーの会を終えて】

- 5園の園児が、協力したり声を掛け合ったりして積極的に交わり、つながりが生まれた。
- 園児と園児だけでなく、職員同士も「関わる」「交わる」とてもよい機会となった。
- 活動の中から、年長児の実態を知ることができた。また、園の先生方がどのように、子どもを動かしているのか、小学校の教員の立場から学ぶことができた。



【写真5】クローバーの会 リレーの様子



【写真6】クローバーの会 集合写真

②1年生生活科「秋のおもちゃまつり」

11月、1年生の生活科の授業では、5園の年長児童を招待し、手作りおもちゃで一緒に遊びながら交流することができた。【写真7】本校1年生は、お兄さん・お姉さんとして相手意識をもって準備や製作に取り組んだり、優しく声をかけたりすることができた。【写真8】

園児たちは、小学校の活動を知り、入学することへの期待感を膨らませることができたように感じた。



【写真7】秋のおもちゃまつりの様子



【写真8】園児に声をかける1年生

【参加した園の職員の方の感想】

- 細かな感染防止対策を施し、このような会を開いていただきありがとうございました。
- 1年生の子の「こっちに来てやってみない？」の声かけ、成功した時の「すごいね！」というほめ言葉、さすが1年生だと思いました。
- クローバーの会で顔を合わせていたこともあり、他の園の児童とも緊張せずに話していた。
- お世話をする卒園児（1年生）の成長した姿を見て、感動しました。

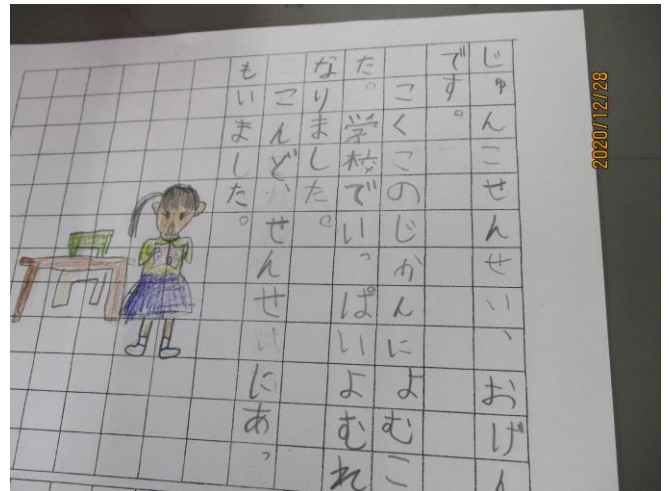
③その他の交流活動

運動会の総練習へ招待、マラソン大会の応援などに園児を招待して、小学校の様子を見学する機会を設けている。各園でも、小学校の年間行事予定を見通して、交流の機会として位置付けられている。【写真9】

また、12月には1年生が国語の学習の中で、お世話になった園の先生方に手紙を書く活動に取り組んだ。【写真10】



【写真9】運動会練習を見学する園児



【写真10】園の先生への手紙

【交流活動の様子から】

- 園児達は、小学校での活動の様子を実際に見学し、イメージを持つことができるため、希望を膨らませて入学することができる。「ぼくも来年マラソン頑張ろう」と話している園児もいた。
- 園の先生方は、卒園児の小学校での様子を継続的に目にすることができる。児童の成長を、地域全体で見守っていこうという温かい雰囲気が生まれる。

●主に保護者への働きかけ

①保護者への啓発活動

今年度は、コロナウイルス対策のため、就学時健診を親子分離型で行うことにした。保護者の待ち時間が発生したため、その時間を利用して、保健講話を実施した。

講話では「入学前の体づくり」として食生活や好き嫌いについて、「入学前の心づくり」として生活リズムについて、花巻市保健センターの職員の方にお話をいただいた。【写真11】

また、本校では1月にあすなろ学習会として、年中児童の保護者を対象に、小学校に入学するまでの家庭教育の役割について意識付けする会を設けている。



【写真１１】保健講話の様子



【写真１２】あすなろ学習会の様子

3 実践のまとめと考察

(1) 保幼小連携のポイント（今年度、連携推進の上で意識したこと）

①無理のない計画を

- ・既存のカリキュラムの中でできる交流を（花巻市のスタートカリキュラムも活用しながら）
- ・コロナウイルス感染対策をとりながら可能な範囲で

②風通しのよい関係づくり

- ・推進担当者を位置付けて
- ・メールやお便りも活用しながら

③「る」のあふれる活動を目指して

- ・「知る」→「関わる」→「つながる」→「ふりかえる」→「共有する」→「つくる」

（お互いを）（児童も職員も）（人も学びも）（取り組みを）（成果や足跡を）（新年度に向けて）

(2) 成果（◎園児や児童の活動や交流 ○職員の指導や交流 □保護者への働きかけ ・その他）

◎園児は、活動を通して、小学校生活へのイメージを膨らませるとともに、小学校への期待を高めることができているように感じた。

◎幼児と児童が交流する体験活動によって、人と関わる力が育まれる。その機会が多いほど効果も大きい。意図的に機会を設定することで、小学校と園という縦のつながり、園と園という横のつながりが深まった。

○保育参観や授業参観を通して、学びや活動がつながっているという認識を持つとともに、就学前教育と小学校教育という複数の視点から情報交換をすることができた。

□就学前教育、小学校教育と並んで、家庭教育も大切であるという保護者の意識を高める活動ができた。

- ・コロナ禍ではあったが、参観や交流の機会を設けることが出来てよかった。

(3) 課題（▲園児や児童の活動や交流 ●職員の指導や交流 ■保護者への働きかけ ・その他）

▲「１０の姿」や「目指す子ども像」のように、保幼小が共通して指導の視点やゴールを持てるとよい。（参観の視点にもなる）

▲お互いの年間予定を考慮しながら、無理のない中で、交流の場を増やしたり、中身を工夫したりしていくとより効果的である。

●保幼での体験や実態を土台にして、スタートカリキュラムを生かしたり、見直したりしたい。

●窓口となる保幼小連携コーディネーターのように、園にも小学校にもキーパーソンとなって活動を推進する立場の職員が位置付けられるとよい。

■連携の様子を保護者にも発信する、家庭教育の役割を更に意識付けするなど、保護者との連携も深めていくことが必要である。